

# MX700 スピーカーのトラブルシューティング機能と接続

## 目次

[概要](#)

[機能](#)

[スピーカーMX700の機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[スピーカーMX700の接続](#)

[デュアルカメラケーブル \(デュアルカメラでMX700\)](#)

[単一のカメラでMX700](#)

## 概要

このドキュメントはシングルおよびデュアルカメラ用のCisco TelePresence MX700のスピーカーと基本的なスピーカーのトラブルシューティングの基本機能について説明します。

## 機能

### スピーカーMX700の機能

ユーザがリモートサイトから話せば、音声は両側 (第3スピーカーと権限の左モニタ) の中心のスピーカーで主に聞こえます。

TelePresenceコーデック (TCの現在のソフトウェアでは、TC (バージョン7.3以降)、MX700/800システム使用のカスタムスピーカーアレイ処理のコーデック2台の論理 (右側) /権限スピーカーを統合します。

すべてのスピーカーは1つのみの発信者がチャンネルごとに使用され、低い周波数で使用中、高頻度です。低いミッドレンジ周波数に、トーンは、スピーカーのサブセット内に配布されます。この動作はコーデックソフトウェア、機能の利点は、以降のアップグレードによって完全にフィールドのすべてのシステム定義されます。

したがって、音声はスピーカーすべてによってされません。周波数の特定のレベルが異なるスピーカーからです。たとえば、コーデックに接続されたPCから曲を、センターのスピーカーのみが曲を主に、およびそのほかのバス、保留/可聴周波数だけができます。

- 低周波数コンテンツはバスドライバで常にされます。
- 低いミッドレンジ周波数は画面上部の複数のスピーカーに分散されます。

# トラブルシューティング

## スピーカーMX700の接続

ケーブル接続を確認するには、次の手順を実行してください:

1. スピーカーがモニタの真上に置かれ、ホワイトパネルでカバーされていることを確認します。カバーを削除すると、両方のモニタの上のスピーカーを確認できます。

2. 最初の2台のカメラ ( カメラの横 ) 削除すると、これらのポートが表示されます:

ポート2および1に接続されているケーブルを次に示します ( 前の図の赤でマークされる )。

3. 前にマーキングされたポート2が接続されているこのケーブルを確認します ( 3つのネットワーク ):

4. ポート1に接続されているこのケーブルがあることを確認します ( 2つのネットワーク ):

注: ポート2に接続されたケーブルが3つのネットワークと1、ポート1に接続されたケーブルには2つのネットワークがあることを確認します。これら2つのケーブルを交換すると、ボイスが適切に拡張されません。

## デュアル カメラ ケーブル ( デュアル カメラでMX700 )

左側の監視のトップスピーカーでは、3つの左端のスピーカーが記されたポート2 ( 前に示す接続し、右側の2つのスピーカーが記されたポート1.に接続する必要があります。適切な監視のトップスピーカー用にカメラからの最初のスピーカー ( 左から右 ) に分類されるポート2に接続し、もう1つはポート1.に接続する必要があります。

## Mx700、シングル カメラ搭載

シングルカメラとコーデックのMX700の同じ接続を使用します。ケーブルを確認したら、スピーカーがTCバージョン7.3以降で機能するかどうかをテストするには、次のコマンドを実行します:

`xcommand experimental audio speakercheck`

CLIからのコマンドを実行すると、各スピーカーからの音が順番に聞こえます ( 発表者から数秒のスピーカを確認するか。ビジネスの接続/機能 )、この出力が表示されます:

`xcommand experimental audio speakercheck`

デフォルトの測定期間はスピーカー1台あたりでは1秒です。理想的には、コマンドの出力では、すべてのスピーカーは「はい」でなければならないfalse negativeが発生する可能性があります。オプションのパラメータの測定期間を増やすと、テストの整合性を改善できます。